







年間授業計画

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科

国語

科目

国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 3組～6組

教科担当者：(3,4組：山岸)(5,6組：山岸)

使用教科書：(『国語表現』大修館書店)

教科「国語」の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目「国語表現」の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元1「言葉と出会う」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・言葉がもつ価値への認識を深める。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・誤った仮名遣いや送り仮名を正しい表記に修正することができる。 ・常体と敬体の違いを理解し、文末表現を統一させることができる。 ・相手に応じて敬語を適切に使い分けることができる。 ・適切な接続表現を使用し、一定量の文章を書くことができる。	○	○	○	24
2 学 期	単元2「伝える、伝え合う」 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりする。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・自己紹介ゲームや言葉のストレッチ体操などのゲーム等を通して、人と言葉で伝えあうための基礎を学ぶ。 ・ニュース原稿などを書くことで、書いて伝える方法を深める。	○	○	○	・言葉を使用したゲームを通して、コミュニケーション能力を高めることができる。 ・必要な情報を整理し、事実を客観的に伝えることができる。	○	○	○	28
3 学 期	単元3「小論文・レポート入門」 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・基礎的な小論文の構成や書き方について学ぶ。 ・反論を想定して書く書き方について学ぶ。 ・課題文型小論文を書くために正確に読み取る練習をするとともに、そこから意見を構成する練習をする。 ・統計資料を読み取って書く練習を	○	○	○	・作文と小論文の違いについて正しく理解できている。 ・対立する意見についても考慮し、説得力のある小論文を書くことができる。 ・課題文を適切に要約することができる。 ・統計資料を適切に分析したうえで、小論文を構成することができる。	○	○	○	18
										合計
										70

年間授業計画

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科 **国語**

科目 **古典基礎**

教科：国語 科目：古典基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：南塚

使用教科書：（新しい古典文法、新しい古典文法演習ノート、グランステップ古典、核心古文単語351）

教科 **国語** の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 **古典基礎** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文の読解に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古文特有の世界観に触れ、古人の想いに深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、古文世界の文化や言葉遣いに興味を持ち、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【新しい古典文法】古典文法入門、動詞の活用、係り結び 【グランステップ】古本説話集、宇治拾遺物語、今昔物語集	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・動詞、係り結びに関する文法項目を正確に理解する。	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	10
	【新しい古典文法】動詞の活用、形容詞、形容動詞 【グランステップ】今昔物語集、伊曾保物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・用言に関する文法項目を正確に理解する。	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						2
2 学期	【新しい古典文法】助動詞 【グランステップ】更級日記、徒然草、平家物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・助動詞に関する文法項目を正確に理解する。	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	12
	【新しい古典文法】動詞の活用、形容詞、形容動詞 【グランステップ】今昔物語集、伊曾保物語	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・助動詞に関する文法項目を正確に理解する。	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						2
3 学期	【新しい古典文法】漢文文法【グランステップ】漢文入門、白紙文集、史記	・本文中の語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。 ・本文の大意を把握し、内容を的確に捉えて表現を味わう。 ・漢文における文法項目を正確に把握する。	・古典の世界に親しもうとしている。 ・学んだ文法事項を正しく扱うことができる。 ・古典文学作品について主体的に学び知識を深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	2
	合計						70



年間授業計画

久留米西高等学校 令和4年度以降入学生用

教科

国語

科目

国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：山岸

使用教科書：（『国語表現』大修館書店）

教科「国語」の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目「国語表現」の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	単元 小論文・レポート入門 自分の意見の理由・根拠をはっきり示しながら論理的に文章を書く。	「反論を想定して書く」 「文章を読み取って書く」 「発想を広げて書く」 ①小論文の構成を理解する。 ②テーマに対して意見を持つことができる。 ③構成を考えて意見を書く。		○	○	①小論文の構成を理解している。 ②テーマに対して意見を持つことができる。 ③構成を考えて意見を書いている。	○	○	○	24
2 学期	単元 会話・議論・発表 目的に合った話し方を身につけ、効果的な表現方法を工夫する。	「建設的な議論の進め方」 「スピーチをしよう」 「プレゼンテーションの工夫」 ①話し合いの方法を理解する。 ②効果的な話し方を考える。 ③相手を納得させる話の進め方を考える。		○		①話し合いの方法を理解している。 ②効果的な話し方を考えている。 ③相手を納得させる話の進め方を考えている。	○	○	○	28
3 学期	単元 表現を楽しむ 言葉の感覚を身につけ語彙力を高めるさまざまな活動に取り組む。	「言葉で遊ぶ」 「魅力的なポスターを作ろう」 「エッセイを書こう」 ①言葉や表現を工夫する。 ②語彙を増やす。		○	○	①言葉や表現を工夫している。 ②語彙を増やしている。	○	○	○	18
										合計
										70

